



山用具の手入れをしよう

2) ザックについて

ザックは山を歩く者にとって必要不可欠からざる用具の一つです。その材質は私が山歩きを始めたころとは格段の進歩を遂げ、より軽量に、より背負いやすく作られるようになりました。では、ふだん山から帰ってザックについてどんな手入れをしていたかという、せいぜい汚れをふき取る位のことでした。なかなか背負い紐の部分に注意を払うなんてことはありませんよね。私は15年ほど前こんな経験をしました。福島の吾妻連峰の東端の一切経山に行った時のことです。まだ大穴火口は古い火口底から有毒ガスは噴出しておらず（8年程前から大穴火口から有毒ガスが噴出するようになり歩行禁止になっている）、直登ルートが歩ける状況でした。浄土平から歩き始めると大穴火口を見下ろせる地点がちょうど休憩に良いポイントだったのです。ただそのルートは風が強く吹くルートでもあり、私が背負っていたサブザックは激しく振られ、揺さぶられ続けました。ふと気が付いたらザックが足元に落ちていました。右側の背負い紐がトップの縫い目のところで切れていたのです。以来私は山から帰って用具の手入れをする時にはザックも注意してみています。ボディ本体はもとより、背負い紐とのジョイント部分を特に注意してチェックし縫い目のほつれがないかをかくにんするようにしています。汚れをとるだけの手入れでなく、各ジョイント部を引っ張ったりしてみることをお奨めします。楽しく山に親しむため

のルーチンワークと心得ましょう。

